

1. 園の保育・教育目標

元気いっぱいきららっ子 ～じょうぶな子・考える子・思いやる子～

2. 前年度園評価や幼児教育指導の方針と重点などを基にした、園経営の重点及び具体的方策

- 体を動かして遊ぶことを楽しむ。
  - ・年齢や発達段階に応じた様々な運動遊びを取り入れ、おもいきり体を動かして遊ぶことを楽しめるようにする。
- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを受けとめたりする。
  - ・よいところ見付けを通して、友達のよさに気付けるようにする。
- 考えたり試したりして夢中になって遊ぶ。
  - ・子どもの思いを受け止め、「やってみよう」「試してみよう」と自分なりに考えて取り組んだり、友達と遊びを進める楽しさを味わったりできるようにする。
- 身近な人や地域の方と関わり、親しみをもつ。
  - ・小学校や近隣の園、地域の方との交流をもち、身近な人と触れ合う楽しさを感じられるようにする。
- どんな状況でも臨機応変に対応できるようにする。
  - ・小学校や家庭と連携して様々な訓練を行い、子どもたちが自分の命は自分で守る意識をもち、自ら行動できるようにする。

3. 評価項目の達成状況及び取組状況

短期目標	自己評価	保護者評価
(1) 様々な運動遊びを通して、丈夫な体づくりをする。	3.6	3.8
(2) 自分の思いや考えを伝えたり、相手の気持ちを知らたりする。	3.6	3.6
(3) 自分なりに考えて試したり、工夫したり、友達と話し合いながら遊びを進める。	3.8	3.6
(4) 小学校や地域の方等、身近な人との触れ合いを楽しむ。	3.8	3.8
(5) 小学校や家庭と連携し、あらゆる災害において対応できるようにする。	3.6	3.8

4. 自己評価結果の概要

- ・日頃から様々な体づくりをしてきたことで意欲が高まり、できることが増えた。一人一人が目標に向かって取り組み、鉄棒や雲梯、跳び箱等、苦手なことにも友達の刺激を受けて自ら挑戦するようになった。達成感や充実感を味わい、体を動かすことを楽しめるようになった。
- ・みんなで考え、話し合う「サークルタイム」をもつ中で自分の思いを伝え合えるようになり、互いのよさに気付き、手伝ったり認めたりするようになった。
- ・マリオワールド作りでは子どもたちが最初から完成まで話し合い、考え、皆で作上げ、達成感を味わうことができた。皆で作ったもので遊ぶことは楽しく、保護者や小学生、先生を招待して自信となった。
- ・地域やボランティアの方、近隣の園や小学校との交流を通して様々な人に親しみをもち、挨拶や会話を元気に交わして自ら感謝を伝えるようになった。併設園のよさを生かして小学校の先生に園行事に参加してもらい、小学生と無理なく触れ合う中で、小学生を身近に感じて関わりをもつようになった。
- ・園で様々な状況を想定した訓練を行い、幼小合同訓練や引き渡し訓練、保護者参加型訓練、救急法講習等、家庭や小学校と連携して取り組む中で、危機意識をもち臨機応変に対応できるようにした。子どもたちと安全に避難するにはどうするとよいかを確認し合い、普段から意識して自ら行動できるようにした。

5. 保護者による評価及び意見の概要

- ・様々な運動遊びをする中で自ら苦手なことにも挑戦するようになり、楽しく体づくりができています。家では挑戦しないことも園では頑張り、諦めずに取り組む姿が見られ、成長ぶりが嬉しい。
- ・自分を出せるようになり、友達とコミュニケーションをとって楽しく遊ぶ姿がよく見られる。家で園のことや友達のことをよく話すようになった。
- ・子どもたちの好きなことややりたいことができる環境で、夢中になって遊んでいる。子どもたちの思いを受けとめ、子ども同士で話し合い、遊びを進めることを大切にしている。
- ・地域との触れ合いが多く、様々な人から見守られていると感じる。小学校との活動が多く、憧れの気持ちをもってやろうとするようになり、先生や小学生の名前を覚えていて就学に向けて心強いと感じる。
- ・様々な訓練をする中で自ら身を守る行動が身に付いていると感じる。小学校や家庭と連携した訓練も多く、災害への対策を一緒に考える機会となっている。

6. 関係者による評価及び意見

- ・家庭で体を動かして遊ぶことが少なくなっている。戸外で遊び丈夫な体づくりに力を入れていてよい。幼い頃からの体づくりは大切で、保育者や友達からの認めや励ましで諦めずにやろうとする気持ちになる。
- ・自分の思いや困っていることを相手に伝えることや最後までしっかりと話を聞くことは大切である。
- ・子どもたちが創意工夫して遊んだり、意見を出しながら協力し合って取り組んだりする姿を大切にしている、夢中になって楽しく遊べている。自ら考え、友達に思いを伝え、工夫し合うことで協調性が育つ。
- ・小学校や近隣の園、地域の方との交流が計画的にできていてよい。様々な人との関わりの中でコミュニケーション能力が培われ、仲間や友達を大切にする気持ちももてるようになる。小学校と日常的に関わることは利点で、先生や小学生と交流する中で親しみが深まる。
- ・防災意識の向上は自分の命は自分で守ることにつながり、小学校や家庭との連携を大切に様々な訓練をしていてよい。親子で災害時の対応を学ぶことは、家庭で話し合うきっかけになる。